

きさらづ

市議会だより

平成18年11月1日

第93号

編集・発行 / 議会広報特別委員会
.0438(23)7111

http://www.city.kisarazu.chiba.jp/gikai/



映画『木更津キャッツアイ ワールドシリーズ』ロケ地活用
～木更津駅西口 みまち通り～

9月定例会

平成十七年度木更津市歳入歳出決算の 認定についてなど 20議案を可決

紙面ガイド

1面	本会議の日程と経過
5-2面	一般質問と答弁の概要
5面	決算認定について及び委員会の動き
6面	議案等の内容及び議決結果

九月市議会定例会は、九月五日から九月二十九日までの二十五日間の会期で開かれました。今定例会では、平成十七年度木更津市歳入歳出決算の認定について、木更津市意見公募手続に関する条例の制定など合計二十議案が審議され、可決・認定・承認・承認・同意されました。また、十二人の議員が四日間にわたり一般質問(個人質問)を行いました。

本会議の経過

初日 9/5

今定例会の会期を九月二十九日までの二十五日間と決定した後、例月出納検査の結果等に関する諸報告が行なわれました。

次に、市長提出議案十九件(議案第50号、議案第68号)と請願三件及び陳情一件が上程され、提案理由の説明

が行われました。この後、二人の議員が市政に対する一般質問を行い、市当局の見解や方針などを質しました。

2日目 9/6

四人の議員による一般質問が行われました。

3日目 9/7

前日に引き続き、四人の議員による一般質問が行われました。

4日目 9/8

前日に引き続き、二人の議員による一般質問が行われ、質問終了後、決算関係議案二件

及び新規条例関係議案一件と、請願三件について大綱質疑が行われました。続いて、決算審査特別委員会を設置し、委員の選任を行いました。その後、議案三件並びに請願三件及び陳情一件を、次のとおり所管委員会へ付託することとしました。

最終日 9/29

委員会付託案件の審査結果などについて、所管委員長に報告を求めた後、質疑・討論・採決が行われました。この結果、各案件とも委員長報告とおり原案可決三件(議案第56号・第61号・第68号)、採択一件(請願第1号・第3号)、趣旨採択一件(請願第2号)、継続審査一件(陳情第15号)と決定しました。

次に、付託省略議案(議案第50号、第55号及び議案第57号、第60号並びに議案第62号、議案第67号)が審議され、いずれも原案どおり可決・認定・承認・同意されました。最後に、市長提出の追加議案一件(議案第69号)が上程され、提案理由の説明が行われ、委員会付託を省略し審議した結果、原案どおり可決され、九月定例会の全日程を終了しました。

9月定例会の日程

日程	議事の内容
9月5日(火)	本会議 (諸報告 議案等上程 一般質問)
6日(水)	本会議(一般質問)
7日(木)	本会議(一般質問)
8日(金)	本会議 (一般質問 議案等の大綱質疑 決算審査特別委員会の設置・議案等付託)
11日(月)	常任委員会 (総務企画消防 経済環境)
12日(火)	常任委員会 (教育市民福祉 土木都市水道)
19日(火)～21日(木)	決算審査特別委員会
29日(金)	本会議 (議案等審議 議員派遣について 諸報告 追加議案上程・審議)

9月定例会 一般質問と答弁の概要

個人質問12人

9月定例会では、12人の議員が市政に対する一般質問(個人質問)を行い、大綱45点・128項目にわたり市当局の見解や方針などを質しました。

紙面には、各議員の質問趣旨(大綱)と、質問議員が選択した大綱1点について質問と答弁の概要を掲載しました。

なお、本会議の全容を記録した会議録は、行政資料室・図書館・公民館などで閲覧することができます。また、インターネットによる、検索・閲覧も可能です。

問 市では、平成16年3月に「木更津市子ども読書活動推進計画」を策定し、今年度から新たな事業として小学校全18校に読書相談員を配置し、学校図書館の充実に取り組んでいる。各学校における読書相談員の活動状況や学校図書館充実の具体策を伺いたい

答 読書相談員は、学校図書館の季節感ある環境づくりや児童へ

岡田 壽彦 議員
教育行政について
高齢者虐待防止に関する本市の施策について
市民が親しみやすい港の整備について
農業行政について

問 六百三十億円という年間自主財源の14倍にもなる多額の借金を抱えた夕張市財政の破綻は、全国の自治体関係者に衝撃を与えた。当局による不正経理や市職員、議会の緊張感不足等から破綻が起きたと言われている。この際、本市財政の健全性について検証していただきたい

答 本市は、大型プロジェクトの推進に伴う関連公共事業で財政負担が増高したのは事実だが、業務核都市としての基盤整備が進み、道路網の整備等による生活利便性向上や生活環境整備等で市民の暮らしやすさが格段に進歩したことも事実である。このポテンシャルを活用した企業誘致や定住人口の拡大に向け、ソフト面の一層の充実に努めていきたい。

貫 一義 議員
本市行財政運営の諸課題について
地域振興の方策について
本市の医療、福祉行政について
盤洲干潟の保全について

の読み聞かせ、本の修理等を中心に活動しており、短期間で学校図書館が見違えるように整備され、来館児童が増えたり、定期的な読み聞かせにより、本に興味を持つ児童が増えている。読書活動の充実に向け、児童のニーズに応える蔵書数増や、学校全校読書の日の制定、購入図書データベース化、図書主任会議の開催等の取り組みを

問 子どもの健全な育成を願う「ノーテレビ・ノーゲームデー」に取り組み地域が増える中、本市でも平成17年度に2回、今年度に1回実施しているが、子どもと家族の対話を増やすための施策として、保護者とともに積極的に展開していく考えはあるか

答 昨年度から市家庭教育推進協議会の一事業として「ノー・テレビタイム」を実施している。これは各家庭で一週間の日程で目標を決め、食事の時間や一定の時間、できる範

要に対応するためには国庫補助金等の特定財源確保や平成19年度導入予定の住民参加型ミニ市場公募債を含む地方債の効果的な発行により次世代間の格差・負担

の公平性に配慮してきたい。また団塊世代の退職時期に重なる職員定数適正化計画の推進により、大幅な人件費圧縮が可能であり、財政の健全化は維持できると考える。



読書活動の推進

困で挑戦してもらったのだが、昨年度のアンケートでは、子どもたちの53%、保護者の77%が続けたいと答えており、今後も調査結果を見ながら取り組んでいきたい。



木更津市役所

庁舎2階ロビーで議会中継を視聴してみませんか！

～いよいよ12月定例会からスタート～
市議会本会議の様子を庁舎2階ロビーに設置したテレビモニターで放映します。議場で行われている本会議を生中継しますので、お気軽にご利用ください。
中継対象 毎回の定例会(年4回)、臨時会
平成18年12月定例会から始まります



本会議を傍聴してみませんか！

～本会議はどなたでも傍聴できます～ 秘密会の決議があった場合を除く
手続きは簡単です。市役所『R階(屋上フロア)』にある傍聴席入口の受付簿に住所・氏名などを記載し、随時入場してください。なお、定員(64名)を超える時は、ご遠慮願う場合があります。(車いすで傍聴ができます。詳しくは議会事務局まで)

傍聴者の状況

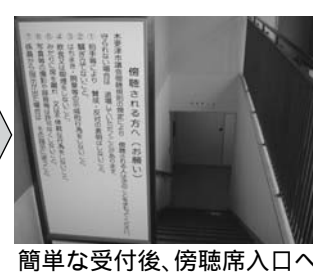
区分	7～9月計	18年累計
本会議	96人	219人
委員会	18人	24人
合計	103人	243人

一般質問と答弁などをケーブルテレビで放映

内容 / 1回目の質問と答弁(各々15分)、提案理由の説明。
時刻 / 定例会ごとに異なります。



エレベーターで『R階』へ



簡単な受付後、傍聴席入口へ



傍聴席から見た議場風景

大村 富良 議員

木更津市の経済について

健康で安心できる街づくりについて
防災対策について
観光行政について

問 企業誘致による地域活性化に積極的に取り組む中で、本市への企業からの引き合いはどのような状況か

答 木更津港の公共埠頭を利用した輸出入業務関連、かずさアカデミアパーク(KAP)での共同研究を目指す企業や東京との近接性を生かしたIT関連企業、アクアラインを活用した空港関連企業、市街地内及び周辺地区

への商業系企業等が立地に関心を示している。特にKAPでは本年度から遺伝子診断用試薬の販売が開始される等、かずさDNA研究所の研究成果を応用した事業が出てきており、附属施設での大学と企業との共同事業も盛んになってきている。地価の底感と相まって立地の引き合いが増えており、今後、企業立地の伸びが期待される。

山形 誠子 議員

就学援助制度について

学校給食について 築地地区へのイオン誘致問題 コミュニティバスの運行を介護保険法と障害者自立支援法の利用者への市独自施策の実施を

問 就学援助制度は、就学困難な児童及び生徒に関わる就学奨励についての国の援助に関する法律で定められ、生活保護世帯や経済的理由で学用品の代金や給食費の支払いに困っている家庭等が適用になる。本市の状況は、毎年、支給人数が増えているが、今年度は四百十一名で全体の四・〇八%であり、対象者ではあるが、受給

できていない生徒がまだいるのではないかと。保護者に対し、どのような機会に制度の説明をしているのか伺いたい

答 現在、就学援助制度の紹介は、各学校で学期初めの家庭訪問等の際に、個別に相談や制度の説明を行っているが、今後は市のホームページ、広報や各学校での入学説明会等での周知方法を検討し

橋口 武信 議員

橋口 武信 議員

問 都市再生機構が金田東地区の企業向け施設用地約60ヘクタールへの進出予定事業者を決定したとの新聞報道があったが、企業誘致状況や開発計画概要を伺いたい

答 都市再生機構では、金田東地区の土地地区画整理事業地内で、地域経済活性化や地域振興に寄与する業務施設の建設・運営を行う事業者を募集し、審査の結果、施設建設計画や基盤整備に関わる条件について独占的な交渉を行う「開発オプシヨン権設定契約を結び予定事業者」として



かずさバイオ共同研究開発センター

て(株)アイ・エム・アイを選定した。現在契約締結に向けた調整中であり、具体的な開発計画がまとまり次第、関係機関や地元市に対して説明を行う予定と聞いている。



朝の登校風景

佐藤多美男 議員

佐藤多美男 議員

問 平成17年4月に「発達障害者支援法」が施行され、小中学校では学習障害や注意欠陥多動性障害、高機能自閉症、アスペルガー等のいわゆる「発達障害」の児童生徒に対する支援教育が強化されている。本市における「発達障害」の児童生徒の現状と支援対策について伺いたい

答 平成14年に文部科学省が実施した全国実態調査では、学習障害等による特別な支援を必要としている児童生徒が約6%程度いる可能性が示されている。これを本市に当てはめると各学級に2〜3人程度の児童生徒が在籍することになるが、この数字は実態をとらえていると思われる。本市では今年5月に小学校4校の主到低学年へ4名のスクール・サポート・ティーチャーを

配置した結果、該当児童が落ち着いて生活、学習できる時間が増え、また学級担任が授業に専念できる環境が整い、学級全体の学習効果が高まる等の成果が出ている。来年度以降、この制度充実に向け、事業の拡大を推進する必要を認識している。

問 今年度の教育予算は昨年度より増額したが、来年度は第一小学校改築や耐震対策等でさらに増額が予想される。特色ある木更津教育創造のために予算の増額をお願いしたい



木更津第一小学校

問 今年度の住民税や国民健康保険税値上げについて市への問い合わせや苦情が殺到したとのことである。8月24日に年金者組合等との連名で「市民負担の軽減措置を求め要望書」を市長に提出したが、本要望に市はどの対応するのか伺いたい

答 負担軽減要望に対する方策については、税制改正における高齢者に係る非課税措置の廃止に伴い、平成17年1月1日現在、65歳以上で前年の合計所得額が百二十五万円以下の者に対する個人市民税(均等割及び所得割)について、平成18年度分は3分の2を、また平成19年度分は3分の1を減額する等、激変緩和の観点からの措置がとられており、配慮されている。

問 3月本会議で、障害者手帳を持たない介護認定者への障害者控除の早期実施を求めたところ、実施に向けて研究していくとの回答があったが、その後、近隣4市の担当者会議でどう議論され、どのような結論となったか伺いたい

答 木更津税務署管内4市で認定基準を統一するため協議した結果、平成18年の所得から控除対象者の認定書交付を行うこととなった。基準内容は、要介護度1と2は普通障害、4と5は特別障害とし、3は介護認定調査表の日常生活



市内デイサービスセンター

白坂 英義 議員

鳥田高速バスストップの進捗について

行政改革について
保健福祉行政について

問 鳥田高速バスストップが来年、供用開始の運びとなり、周辺地区の交通便利性や市の定住人口増加への大きな役割を担うと期待されているが、バスストップ事業や駐車場の概要について説明願いたい

答 バスストップ整備は、館山自動車道君津～富津中央間の工事と一体的に進めるため、平成19年9月末が工期

となるが、料金は金田や君津、袖ヶ浦等の他のバスターミナル事例を参考に設定したいとのことである。

問 バスストップ設置に伴い、交通量の増加による事故の危険性が懸念され、特に子どもたちの登校時間と利用者の利用時間帯がラップするため危険が増すと思われるが、交通安全対策や警察への要望の考えを伺いたい

答 今後、市が管理する周辺道路で交通量等の変化による交通安全施設の必要性が生じた場合、警察等と協議し対策を



館山自動車道 羽鳥野付近

飯田喜代子 議員

介護制度の充実について

生活保護について
自立支援法について
学校教材の共通利用について

問 介護を家族だけの負担から開放し、公的なものにするために介護保険制度ができて6年。今年10月から制度が大きく変わるが、どのように周知を図ったのか。学習会等は実施したのか

答 市広報紙への掲載やパンフレットを作成し、行政窓口や介護保険施設へ備え付けた。また市内各団体の学習会や説明会に出席し、

金井 珠美 議員

子育て支援について

地域福祉計画策定に向けて
残土、産廃処分場問題について

問 厚生労働省の進める「つどいの広場」事業の取り組みが、今年5月に旧東清保育園で始まったが、どのような事業が展開され、どう評価しているのか。また今後の計画について伺いたい

答 本市では、旧東清保育園跡地を再利用した「ゆりかもめ東清分館」で、子育て支援事業の一環として、子育て中の親子が気軽に

一時保育の実施や地域の高齢者との交流等の新事業の取り組みや事業内容の充実に努めた。

問 夜の急病等に対し、夜間急病診療所や児童事業の子ども急病電話相談は利用時間が限られるため、空白の時間帯では救急車に頼らざるを得ない。東京都杉並区のように急病や怪我に対する24時間電話相談のシステムを作ることが、子育て中の若い人たちの心強い味方となると思うがいかがか

答 県では現在「小児救急電話相談」は常時雇用労働者が三百人以上の事業所に定義義務があるが、直接国に届け出ることから状況は把握していない。機会があれば方法をとらえ実態について調査をしたい。



ゆりかもめ東清分館

荒生 直美 議員

安心して子どもを生み育てられる環境づくりについて

まち全体でめざす教育都市について
公民館と市民学習会館について
ノーマライゼーションのまちづくりについて

問 本市の次世代育成支援行動計画では、仕事と家庭・子育ての両立支援に向けた体制整備の状況はどうか

答 昨年度の育児介護休業法改正で、仕事と子育ての両立のための環境整備が進んできたが、現実には制度の周知と活用が十分浸透しているとは言いがたい状況にあるので、市でも労働対策に関する



介護保険説明会の様子

問 次世代育成支援対策推進法の成立以来、雇用形態を見直す動きが始まっており、仕事と子育ての両立支援に向け、企業等には一般事業主行動計画の策定が求められているが、市内事業者の策定状況を把握しているか

答 この行動計画



次世代育成支援行動計画

荻野 一男 議員

教育行政に関して

指定管理者制度導入後の状況について
行政当局からみた港まつりの総括
消防本部伐採樹活用評価について

問 話のできる教師、いわゆる「語部(かたリベ)的能力のある教師が受け持つクラスの子どもたちは、非常に成績が良いとの新聞記事を目にした。教科以外の話を聞く事で、教科書以外の多くの知識や教養と集中力が身につくため、人づくりの教育的効果が高いと考えるが、「語部」としての教師の大切さについて見解を伺いたい

答 話の出来、不出来は個人差があり、教職員全員に一定の能力を育成することは困難とは考えるが、研修に「コミュニケーション能力育成講座」や「人間力育成講座」を取り入れ、教職員の話す力や人間性の向上に取り組みほか、教科指導以外の知識や教養も身につく研修内容をさらに加えていきたい。

問 靖国や領土問題
答 文科科学省の学習指導要領では、歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史を大きな流れと各時代の特色を世界の歴史を背景に理解させ、我が国の文化と伝統の特色を広い視野で考えさせることを第一目標としている。これらの指導は、まず歴史的事象に興味・関心を持たせ、その学び方を身に付けさせ、様々な資料を活用して、多面的・多角的に考え、正しい判断ができる児童生徒を育成することが望ましいと考える。



市内小学校の授業風景

三上 和俊 議員

土地開発公社の経営について

問 市は不良物件を大量に抱える土地開発公社の健全化対策に積極的取り組みができたが、財政規模に比べ適正な額を下回るには至っていない。後年度負担軽減のため、金融機関に対する低金利・長期返済への切り替えや債権の一部放棄の要請等を、公社と連携して取り組むべきと考えるがいかがか

答 平成17年度末の長期借入金額は約74億3千万円で、事業資金等にかかる借入金利は年1億3千万円ほどある。バブル期の平成3年時点で約7・6%あった利息金利は、金融機関に申し入れをし、これまで段階的に引き下げられた結果、年1・75%となっている。借入先の金融機関と協議調整を行い、長期返済への切り替えや低金利融資について、

等多くの外交問題を抱えた中で、世論は歴史教育の大切さをあらためて認識したようだが、今後、義務教育課程で、国は歴史教育をどのように進めると考えるか、またどのような指導が理想的か

問 今年度から始まった公社第2次経営健全化計画を執行していく買戻しのための財源は確保できるか伺いたい
答 後年度の財源は、職員定数見直しによる人件費削減分の充当等、行政経営アドバンスプランの着実な推進により確保に努めたい。当該



土地開発公社が保有する土地

平成十七年度決算認定について

議会最終日に、平成十七年度の本市決算について、決算審査特別委員会の審査報告を受け審議した結果、一般会計並びに特別会計の平成十七年度木更津市歳入歳出決算及び水道事業会計の平成十七年度木更津市水道事業決算を、賛成多数をもって認定しました。

二十一日まで書類審査を実施し、二百五十二点に及び質疑を行い、執行部の説明を求めるとともに、事務事業に関する改善などの要望を行いました。審査の結果、三位一体改革の影響による厳しい財政運営が依然続く中においても、一般会計や特別会計では、財政再建への取り組みや超高齢化社会への対応、市のイメージアップに向けた諸事業等に予算が効率的・効果的に執行され、また水道事業会計においても、支出の抑制に努めており、いずれの会計も、決算審査特別委員会で全会一致をもって決算を認定することと決しました。

決算審査特別委員会

決算審査特別委員会では、九月十九日から二十一日までの三日間にわたり、本会議で付託された決算の認定に関する議案第56号及び議案第68号について審議しました。
第一日目・十九日の午前中に現地調査を行い、午後から三日目・

特別委員会委員	委員長	副委員長
西 勝義 白坂 英義 石井 量夫	武藤 義彦 岡田 壽彦 後藤 秀	高橋 浩 荻野 一男 三上 和俊



平成18年度予算額一覧表

(単位:千円)

会計名	補正前の額	補正額	議決後の額	
一般会計	30,332,609	2,918	30,329,691	
特別会計	国民健康保険	12,015,700	558,864	12,574,564
	老人保健	7,215,300	0	7,215,300
	介護保険	5,534,100	36,048	5,570,148
	公設地方卸売市場	76,300	3,216	79,516
	公共下水道事業	3,010,400	125,007	3,135,407
	駐車場事業	324,500	0	324,500
小計	28,176,300	723,135	28,899,435	
水道事業会計	5,116,685	56,500	5,173,185	
合計	63,625,594	1,499,852	65,125,446	

補正額には、専決処分による補正予算額を含みます

委員会の動き(8月~10月)

- 総務企画消防常任委員会
- 9/11 付託案件審査(議案一件・請願一件)
- 10/4/6 行政視察(大分県白杵市・宮崎県都城)
- 経済環境常任委員会
- 9/11 付託案件審査(請願一件・陳情一件)
- 10/11/13 行政視察(兵庫県姫路市・広島県尾道市)
- 教育市民福祉常任委員会
- 9/12 付託案件審査(請願一件)
- 10/3/5 行政視察(群馬県前橋市・新潟県柏崎市)
- 土木都市水道常任委員会
- 10/4/6 行政視察(鳥取県鳥取市・島根県松江市)
- 議会運営委員会
- 8/7 議会改革について
- 8/27 9月定例会議事運営について
- 9/15 議会改革について
- 議会広報特別委員会
- 10/20 議会だより第93号の発行について
- 業務核都市拠点地区対策特別委員会
- 10/25/27 行政視察(宮崎県宮崎市・大分県佐伯市)
- 決算審査特別委員会
- 9/19/21 付託案件審査(議案一件)

議案等の内容及び議決結果

市長提出議案

議案第50号『専決処分
の承認を求めようとする
ことについて』

下水道高資本費対策
借換債の制度を活用し
て既往債の借換えを行
うことについて、予算
措置が必要となり急施
を要したため、専決処
分したので報告し、議
会の承認を求めようとする
ものです。

原案承認 全会一致

議案第51号『平成十
八年度木更津市一般会
計補正予算(第2号)』

一般会計予算の歳入
歳出の総額からそれぞ
れ二百九十一万八千円
を減額しようとするも
の。議決後の一般会
計予算額は三百三億
二千九百六十九万一千
円になります。

原案可決 全会一致

議案第52号『平成十
八年度木更津市国民健
康保険特別会計補正予
算(第1号)』

国民健康保険特別会
計予算の歳入歳出の総
額にそれぞれ五億五千
八百八十六万四千円を
追加しようとするもの
です。議決後の特別会
計予算額は百二十五億
七千四百五十六万四千
円になります。

原案可決 全会一致

議案第53号『平成十
八年度木更津市介護保
険特別会計補正予算
(第1号)』

介護保険特別会計予
算の歳入歳出の総額に
それぞれ三千六百四万
八千円を追加しようとする
ものです。議決後
の特別会計予算額は五
十五億七千四百八千
円になります。

原案可決 全会一致

議案第54号『平成十
八年度木更津市公設地
方卸売市場特別会計補
正予算(第1号)』

公設地方卸売市場特
別会計予算の歳入歳出
の総額にそれぞれ三百
二十一万六千円を追加
しようとするものです。
議決後の特別会計予算
額は七千九百五十一万
六千円になります。

原案可決 賛成多数

議案第55号『平成十
八年度木更津市公共下
水道事業特別会計補正
予算(第1号)』

公共下水道事業特別
会計予算の歳入歳出の
総額からそれぞれ百二
十九万三千円を減額し
ようとするものです。
議決後の特別会計予算
額は三十一億三千五百
四十万七千円になりま
す。

原案可決 全会一致

七年度木更津市歳入歳
出決算の認定について
一般会計をはじめ、
各特別会計(七会計)
の平成十七年度決算に
ついて、議会の認定を
受けようとするもので
す。

原案認定 賛成多数

議案第57号『木更津
市教育委員会委員の任
命について』

木更津市教育委員会
委員青木和義氏の任期
満了に伴い、同氏を再
度任命しようとするも
の。議決後の特別会計
予算額は三十一億三千
五百四十万七千円にな
ります。

原案同意 全会一致

議案第58号『木更津
市公平委員会委員の選
任について』

木更津市公平委員会
委員土佐康夫氏の任期
満了に伴い、後任者と
して白石哲也氏を選任
しようとするものです。
議決後の特別会計予算
額は三十一億三千五百
四十万七千円になりま
す。

原案同意 全会一致

議案第59号『木更津
市固定資産評価審査委
員会委員の選任につい
て』

木更津市固定資産評
価審査委員会委員平野
芳和氏の任期満了に伴
い、後任者として鈴木
竹男氏を選任しようとする
ものです。

原案同意 全会一致

候補者として法務大臣
に推薦するため、議会
の意見を求めるもので
す。

原案同意 全会一致

議案第61号『木更津
市意見公募手続に関す
る条例の制定について』

政策形成過程での市
民等の参画機会を提供
するとともに、市民等
に対する説明責任を果
たすことにより、行政
運営の透明性の向上を
図り、開かれた市政の
実現を目指すため、新
たに条例を制定しよう
とするものです。

原案可決 全会一致

議案第62号『木更津
市消防団条例等の一部
を改正する条例の制定
について』

消防組織法の一部を
改正する法律の施行に
伴い、関係条例の整備
をしようとするもので
す。

原案可決 全会一致

議案第63号『木更津
市国民健康保険条例の
一部を改正する条例の
制定について』

国民健康保険の被保
険者等に係る出産育児
一時金及び葬祭費の額
を変更するため、関係
条文の整備をしようとする
ものです。

原案可決 賛成多数

する条例の制定につい
て
住民基本台帳法の一
部を改正する法律の施
行等に伴い、関係条文
の整備をしようとする
ものです。

原案可決 全会一致

議案第65号『木更津
市民総合福祉会館の設
置及び管理に関する条
例及び木更津市身体障
害者福祉センターの設
置及び管理に関する条
例の一部を改正する条
例の制定について』

障害者自立支援法の
施行に伴う身体障害者
福祉法及び知的障害者
福祉法の一部改正に伴
い、関係条例の整備を
しようとするものです。

原案可決 賛成多数

議案第66号『市道路
線の認定について』

道路線の認定について
議会の議決を得ようとする
ものです。

原案可決 全会一致

議案第67号『専決処
分の承認を求めようとする
ことについて』

水道高料金対策借
換債の制度を活用して
既往債の借換えを行う
ことについて、予算措
置の必要が生じ急施を
要したため、専決処分
したので報告し、議会
の承認を求めようとする
ものです。

原案承認 全会一致

業決算の認定について
水道事業会計の平成
十七年度決算について
議会の認定を受けよう
とするものです。

原案認定 賛成多数

議案第69号『平成十
八年度木更津市一般会
計補正予算(第3号)』

木更津第一小学校改
築及び(仮称)木更津
市学校給食センター整
備事業を実施するため
の予算として、限度額
を六十六億八千万円に
金利変動及び物価変動
による増減額並びに消
費税及び地方消費税を
加算した額の範囲内と
する債務負担行為の設
定を行なおうとするも
の。議決後の特別会計
予算額は三十一億三千
五百四十万七千円にな
ります。

原案可決 賛成多数

請願
請願第1号『農地・
水・環境保全向上対策』
に関する請願について
地域ぐるみで農地・
水を守る共同活動と環
境保全に向けた営農活
動を支援する「農地・
水・環境保全向上対策」
の周知と予算の確保を
行うよう、市に対して
求めるものです。

請願者：木更津市農業
協同組合・代表理事組
合長 梅澤 千加夫
採 択 全会一致

請願第2号『圏央道
(仮称)木更津インター
チェンジにバスターミ
ナル設置の請願書』

富来田地区に建設中
の首都圏中央連絡自動
車道(仮称)木更津イ
ンターチェンジ周辺に
まちづくりの拠点整備
の先導施設となるバス
ターミナルの設置に向
け、用地を確保し、併
せて関係機関やバス事
業者へ働きかけよう、
市に対して求めるもの
です。

請願者：圏央道富岡地
区対策協議会・会長
鈴木 昭三

趣旨採択 全会一致
請願第3号『障害者
の地域生活を後退させ
ない施策に関する請願
書』

障害者の地域生活を
後退させないため、生
活ホーム等の充実を図
る施策を講じるよう、
市に対して求めるもの
です。

請願者：千葉県生活ホ
ーム等連絡協議会・会
長 五十嵐 正人

採 択 全会一致

陳情
陳情第15号『アスベ
スト問題に関する陳情
書』

住民が安心して安全
に生活できるよう、ア
スベスト対策の実施を
市に求めるとともに、
被害の早期発見と早期
治療の実施、予防対策
補償制度の充実を図る
ため、国に対して意見
書を提出するよう求め
るものです。

陳情者：アスベスト被
害から県民の命を守る
千葉県センター・代表
長谷川 吉則
継続審査 賛成多数

次の定例会は、12月5日(火)から開催される予定です。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

会議録の閲覧について

平成18年9月会議録は、市役所(2階)行政資料室、最寄りの公民館・図書館などで12月1日(金)頃から閲覧することができます。

インターネットによる会議録の検索・閲覧について

市議会ホームページ内の「会議録の検索と閲覧」で、本会議および委員会の会議録をご覧いただけます。

URL <http://www.city.kisarazu.chiba.jp/gikai/> (平成18年9月会議録【HP版】は12月上旬公開の予定です。)